避難勧告発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）　　石岡市【霞ヶ浦】

平成30年8月現在　Ver.1

※霞ヶ浦既往最大洪水（昭和13年6月～7月洪水）の実績水位による

	気象・水象情報	霞ヶ浦河川事務所	石岡市	住民等
-144H（6日前） -141H	◆台風予報 ◆台風に関する茨城県気象情報（随時） ◆大雨注意報・洪水注意報発表 ◆台風に関する気象庁記者会見（見通し） ◆大雨警報・洪水警報発表	○施設（水門、排水機場等）の点検・操作確認 ○委託施設の連絡体制と操作体制の確認 ○災害対策用資機材及び車両の確認 ○協力機関の体制確認	【注意配備体制】 ○水防団等への注意喚起 ○学校に対する休校の判断、体制確認 ○警報発表時は防災行政無線等により住民に周知	○テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認 ○ハザードマップ等による避難所及び避難ルートの確認 ○防災グッズ等の確認・準備 ○自宅保全
-120H（5日前） -117H	水防団待機水位到達　出島水位観測所【水位1.5m】	【注意体制】 水防警報（指定水位） ○水門、排水機場等の操作 ○応援体制の確認・要請（防災エキスパート等） ○波浪による堤防の巡視 ○浸食状況の情報提供	●警戒体制【風水害】 ○警戒体制招集職員の配置 ○水防団へ待機準備を指示 ○避難所開設を検討 ○時間ごとの河川水位、雨量、降水短時間予報を確認 ○災害対策連絡会議の設置 ○浸食状況の情報提供	○テレビ、ラジオ、インターネットにより大雨や河川の状況把握
-105H	氾濫注意水位到達　出島水位観測所【水位2.1m】	【警戒体制】 洪水予報（氾濫注意水位） ○出水時点検（巡視） ○CCTVによる監視強化 ○防災エキスパート待機要請 水防警報（出動） 水防警報（指示） ○ホットライン ○リエゾン派遣	●一次配備【風水害非常体制】 ○災害対策関係課職員・管理職等の配置 ○災害対策本部の設置 ○水防団出動指示（巡視） ○時間ごとの河川水位、雨量、降水短時間予報を確認 ○浸水想定区域に洪水予報伝達 ○避難所開設の準備 ○避難の必要な状態が夜間・早朝の時には「避難準備・高齢者等避難開始」の発令判断 避難準備・高齢者等避難開始の発令 ・氾濫注意水位に到達し更に水位上昇が見込まれる場合 ・避難判断水位に到達 ・軽微な浸水・浸食を発見	○石岡市防災行政無線、緊急速報メール、Lアラート、ホームページ、市メールマガジン、広報車等により避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）を受信 要配慮者避難開始
-102H -96H（4日前） -72H（3日前） -54H -48H（2日前） -24H（1日前） -0H	避難判断水位到達　出島水位観測所【水位2.5m】	洪水予報（特別警戒水位） ○被害状況の情報提供	●二次配備【風水害非常体制】 ○災害対策関係課職員・係長の配置 ○短時間ごとの河川水位、雨量、降水短時間予報を確認 ○必要に応じて助言の要請 避難勧告の発令 ・避難判断水位に到達し更に水位上昇が見込まれる場合 ・氾濫危険水位に到達 ・異常な漏水、浸食を発見	避難開始
	氾濫危険水位到達　出島水位観測所【水位2.6m】 ◆暴風警報発表 ◆大雨特別警報発表 計画高水位到達　出島水位観測所【水位2.85m】 堤防天端到達・越流 氾濫発生	【非常体制】 洪水予報（危険水位） ○業務編成支所応援要員の確認・現地対策本部設置準備 ○堤防被害状況の整理 ○内水氾濫状況の把握（道路冠水・通行不能区間含む） ○災害対策機械の派遣 洪水予報（氾濫発生情報） ○ホットライン（重大災害情報） ○副ホットライン（重大災害情報） 堤防復旧・現地対策本部 ○被害状況の把握 （状況によりヘリコプター等による迅速な状況把握） ○TEC-FORCEの活動 ○被害状況・調査結果等の公表	○全職員が防災対応体制に入る 避難指示（緊急）の発令 ・氾濫危険水位に到達し更に水位上昇が見込まれ堤防天端に到達する恐れが高い場合 ・決壊越水、溢水が発生 ・異常な漏水、浸食の進行や亀裂、すべり等による決壊の恐れが高い場合 ○特別警報時は防災行政無線等により住民に周知 ○災害対策機械の派遣要請 ○自衛隊への派遣要請 ○避難者への支援	避難完了 最終的な危険回避行動 避難解除